

デジタル・コーティングマシン

DCF-605 PU

Digital Coat Model

お手入れのお願い

メンテナンスに関するご注意	2
メンテナンス項目とタイミング	3
メンテナンスに必要な道具	4
メンテナンス方法	5
液供給ホース	5
浸け置きバットへのメンテナンス液の補充	5
捨て打ちバットの点検 / 廃棄	8
外装のお手入れ	9
塗布パネル面 / タンク周辺 / 浸け置き・捨て打ちバット	9
サックフィルターを交換する	10
ミストフィルターを交換する	11
エアキャップに溜まったメンテナンス液を排出する	13
エアキャップの清掃	14
インクのメンテナンス	15
経路にエアーが入った場合の復旧手順	15
インクボトルを交換する	15
インク登録情報をインク IC チップに書き戻す	20
タンクキャリブレーション	22
ノズルキャップを付ける	27
ワイパーを交換する	28
フラッシングメッシュの交換	30
ボードホルダーの交換	32
インクを排出する	32
インク経路を洗浄する	35
塗布確認を行う	38
塗布確認を行う	38
FineCoat による塗布	39
電源のオン	41
電源のオフ	42
サプライ品について	43

MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.

メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、本機の清掃や消耗品の交換をしてください。

警告	
	<ul style="list-style-type: none">定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまいます。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。
	<ul style="list-style-type: none">本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
注意	
	<ul style="list-style-type: none">塗布剤やインク、メンテナンス液を取り扱う前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。 https://japan.mimaki.com/supply/sds/健康に対する有害性や安全対策、取り扱い上の注意、暴露防止及び保護措置などの詳細は SDS をご確認ください
	<ul style="list-style-type: none">塗布剤やインク、メンテナンス液、廃インク、その他本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口に入ったりするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。
注記	
	<ul style="list-style-type: none">カバーに塗布剤やインク、メンテナンス液が付着しないようにしてください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目	参照先
1日の作業の前に	液供給ホースに亀裂や漏れがないかを確認してください。	☞「液供給ホース」(P.5)
	浸け置きバット内のメンテナンス液の量を確認し、少ない場合は補充してください。	☞「浸け置きバットへのメンテナンス液の補充」(P.5)
	捨て打ちバット内の廃液を廃棄してください。	☞「捨て打ちバットの点検/廃棄」(P.8)
1週間の作業が終わったとき	カバー（外装）を清掃してください。	☞「外装のお手入れ」(P.9)
汚れが目立つとき	塗布パネル面/タンク周辺/浸け置き・捨て打ちバットを清掃してください。	☞「塗布パネル面/タンク周辺/浸け置き・捨て打ちバット」(P.9)
塗布剤やインクの流量が少なくなってきたら	サックフィルター (SPC-0875) を交換してください。	☞「サックフィルターを交換する」(P.10)
1年に1回程度	ミストフィルター (SPC-0889) を交換してください。	☞「ミストフィルターを交換する」(P.11)
電源をオフにしたとき	ノズルに遮光用のノズルキャップを付けてください。	☞「ノズルキャップを付ける」(P.27)
電源をオンの状態で装置を長時間放置したとき	エアキャップに溜まったメンテナンス液を排出してください。	☞「エアキャップに溜まったメンテナンス液を排出する」(P.13)
エアキャップを取り外したとき	エアキャップを取り外し清掃を行ってください。	☞「エアキャップの清掃」(P.14)
1カ月に1回程度	インクボトルを振ってください。	☞「インクのメンテナンス」(P.15)
定期的に (ディスプレイにメッセージが表示されたら)	インクボトルを交換します。	☞「インクボトルを交換する」(P.15)
	タンクキャリブレーションを行います。	☞「タンクキャリブレーション」(P.22)
	ノズルワイパー セット (SPC-0890) を交換します。	☞「ワイパーを交換する」(P.28)
捨て打ちバット内のメッシュが汚れたとき	フラッシングメッシュ (SPC-0891) を交換してください。	☞「フラッシングメッシュの交換」(P.30)
ボードホルダーを紛失した、または破損したとき	ボードホルダー (SPC-0900) を交換してください。	☞「ボードホルダーの交換」(P.32)
本機を1か月以上使用しない場合	インクの排出と経路の洗浄を行ってください。	☞「インクを排出する」(P.32) ☞「インク経路を洗浄する」(P.35)

メンテナンスに必要な道具

品名	品番
メンテナンス液 07 (1L ボトル)	ML007-Z-BA
綿棒 6 本軸 "S"	A101438
紙タオル (メンテナンス用キムタオル)	SPC-0499
キムワイプ S-200	SPA-0207
メンテナンス用クロス	SPC-0574
保護メガネ	
手袋	

その他の消耗品は、弊社ホームページにてご覧になれます。

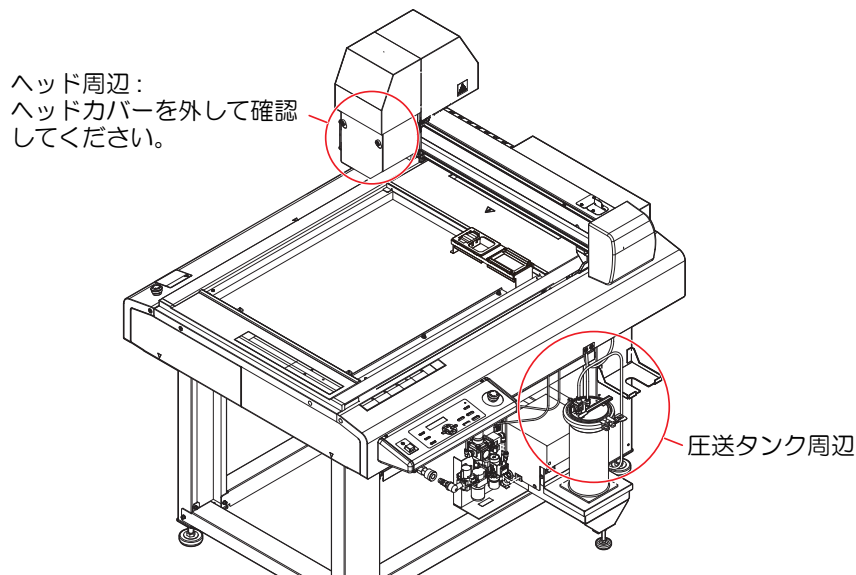
<https://japan.mimaki.com/supply/>

メンテナンス方法

液供給ホース

目視で亀裂や漏れがないかを確認します。
一日の作業の前に必ず確認してください。

● 確認箇所



- ・ホースに異常があった場合は、電源をオフにし、本機を停止してください。



- ・ホースの交換は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

浸け置きバットへのメンテナンス液の補充

浸け置きバットは、ヘッドの待機位置となり、メンテナンス液によりノズルの先端の固着を防ぎます。
定期的に確認、補充をしてください。



- ・メンテナンス液の補充の際は、必ず適切な保護メガネ、手袋、マスクを着用して作業を行ってください。
- ・一日の作業の前に必ず実施してください。


1

電源を入れる。(参照 P.41)

- (1) 主電源スイッチを入れる。
- (2) 電源スイッチを入れる。

2

ヘッドを移動させる。

- (1) [REMOTE] キーを押して、ローカル状態にする。
- (2) , [Z-UP], [Z-DOWN] いずれかのジョグキーを押して、ジョグモードに入る。
・ジョグモードに入ると、自動でヘッドが上昇します。
- (3) ジョグキーでヘッドを浸け置きバットから離れた位置へ移動させる。

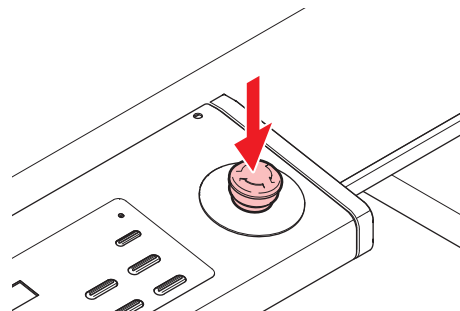
3**停止スイッチを押す。**

- 本機の動作が停止し、スイッチ解除の表示になります。

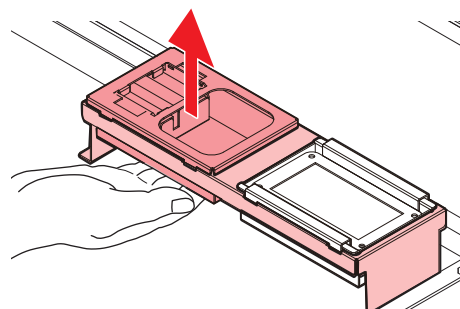
スイッチヲ カイシ`ヨ シテクタ`サイ



- 停止スイッチを押すと、ヘッドが下降します。ワーク等に当たらない位置で、停止スイッチを押してください。

**4****浸け置きバットをバットホルダーから取り外す。**

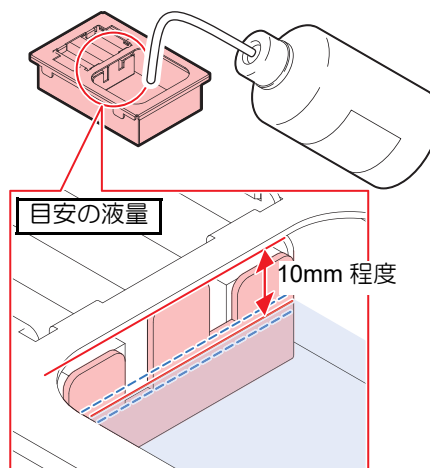
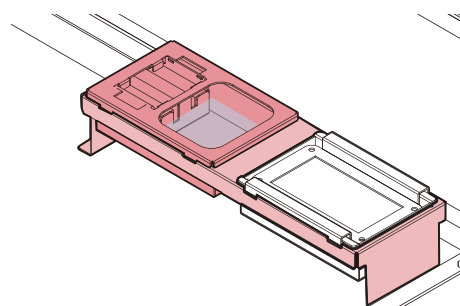
- バットの下に手を入れて、バットを上押し上げて取り出してください。

**5****浸け置きバットにメンテナンス液を補充する。**

- 補充の目安：フチから下に 10mm 程度



- 1カ月に1回程度、浸け置きバット内のメンテナンス液を全て入れ替えてください。

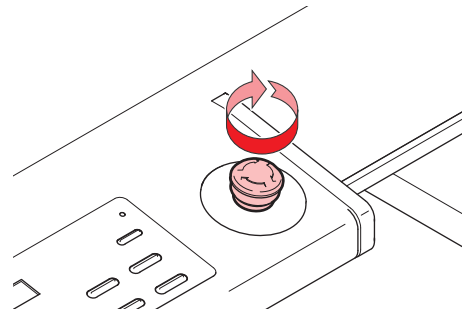
**6****浸け置きバットをバットホルダーへ取り付ける。**

7

停止スイッチを時計方向に回して、ロックを解除する。

- 以下の表示になります。

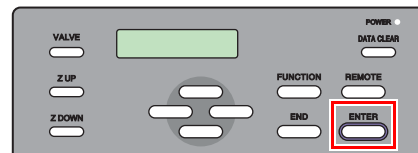
[ENT]ヲ オシテクタ`サイ



8

ヘッドを待機位置に戻す。

- (1) [ENTER] キーを押す。
- 自動で待機位置 (浸け置きバット) へ戻ります。



捨て打ちバットの点検 / 廃棄

一日の作業の前に必ず点検を行い、捨て打ちバットが空であることを確認してください。



- 作業の際は、必ず適切な保護メガネ、手袋、マスクを着用してください。


捨て打ちバット内のインクを廃棄します。

1

ローカル状態で、[FUNCTION] キーを押す。



FUNCTION
マシンセッテイ [ENT]

2

  で [メンテナンス] を選択し、[ENTER] キーを押す。

FUNCTION
メンテナンス [ENT]

3

  で、[ステウチバット ハイキ] を選択し、[ENTER] キーを押す。

メンテナンス
ステウチバット ハイキ [ENT]

4

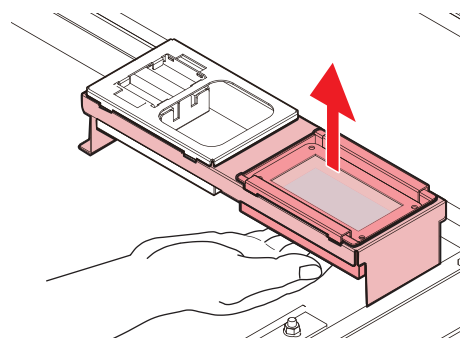
捨て打ちバット内のインクを廃棄し、元の位置に戻した後に [ENTER] キーを押す。

ステウチバット
カラ ニ シテクダサイ [ENT]

- 捨て打ちバットを取り出すときは、バットの下に手を入れてバットを上押しして取り出してください。
- 捨て打ちバットの内部およびメッシュ上に凝集した塗布剤が残る場合は除去するようにしてください。



- 捨て打ちバットを取り出すとき、インクをこぼさないように注意してください。
- インクは産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。



5

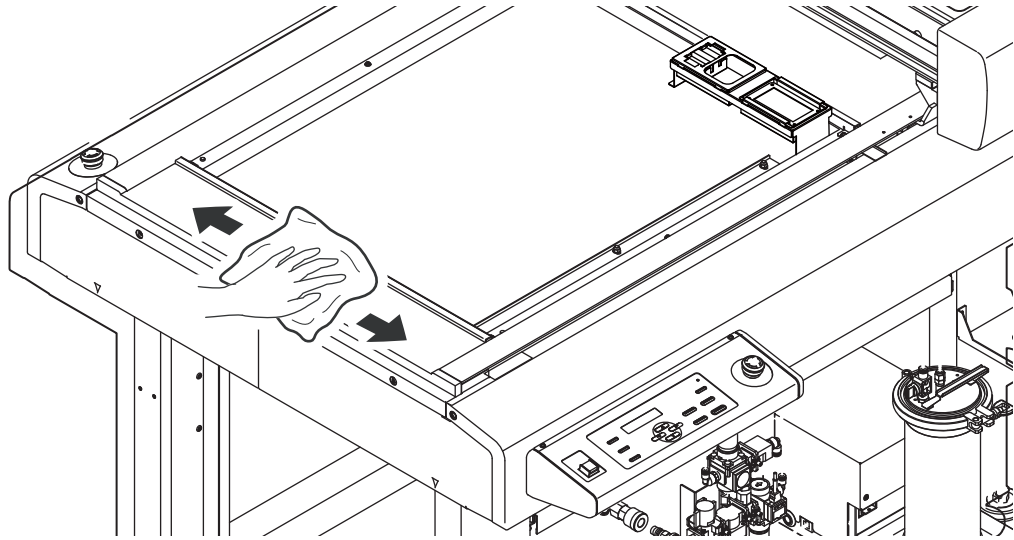
[ENTER] キーを押して、捨て打ちバットのインク量を初期化する。

ステウチバット
カウント クリア [ENT]

- バットの上で捨て打ちなどを行った際のインク量を累算し、バットからインクが溢れないように残量管理を行ないます。

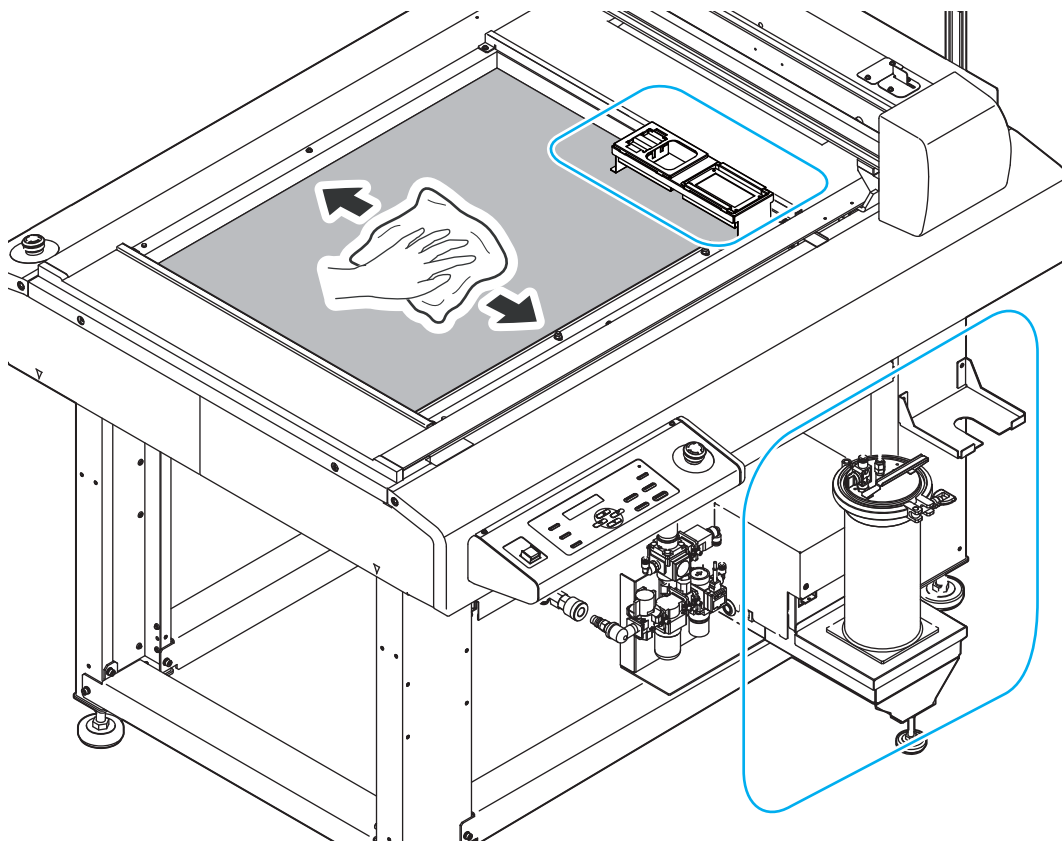
外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



塗布パネル面 / タンク周辺 / 浸け置き・捨て打ちバット

塗布剤がこぼれてしまった場合や、違うところへ塗布してしまった場合は、乾いたきれいな布や紙タオル等で拭き取ってください。汚れが目立つときは、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



サックフィルターを交換する

塗布剤やインクの流量が少なくなってきたら新しいサックフィルタ SUS200 メッシュ(SPC-0875) に交換してください。

1

電源を切る。(☞ P.42)

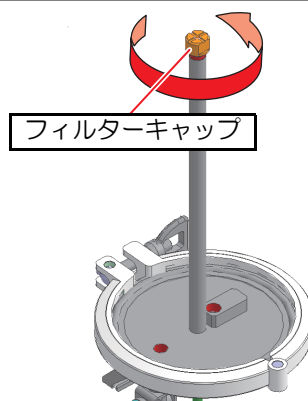
- (1) 電源スイッチを切る。
- (2) 主電源スイッチを切る。

2

フィルターキャップを外す。

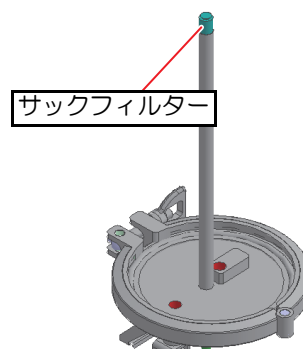


- ・タンク周辺を紙ワイプ等で養生してください。



3

新しいサックフィルターに交換する。

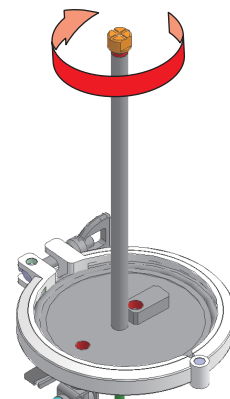


4

フィルターキャップを付ける。



- ・サックフィルターを落さないように注意してください。



ミストフィルターを交換する

ミストフィルターは、ヘッドから塗布剤/インク滴を吐出した際に発生するミストを吸収しています。汚れたまま使い続けると、成果物を汚してしまう原因になります。

ミストフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは新しいミストフィルターカバー (SPC-0889) に交換してください。

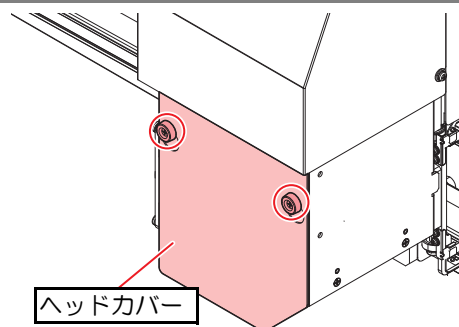
1年に1回程度の交換をおすすめします。

1 電源を切る。(P.42)

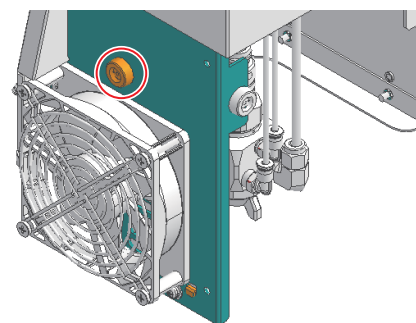
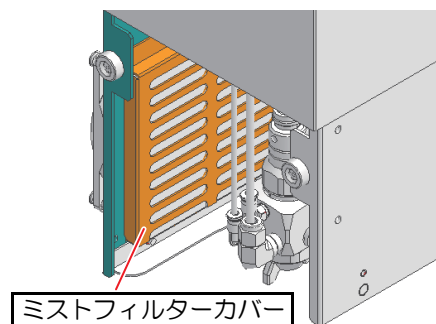
- (1) 電源スイッチを切る。
- (2) 主電源スイッチを切る。

2 ヘッドカバーを外す。

- (1) ネジ (x2) を回して緩める。
- (2) ヘッドカバーを上を持ち上げながら外す。



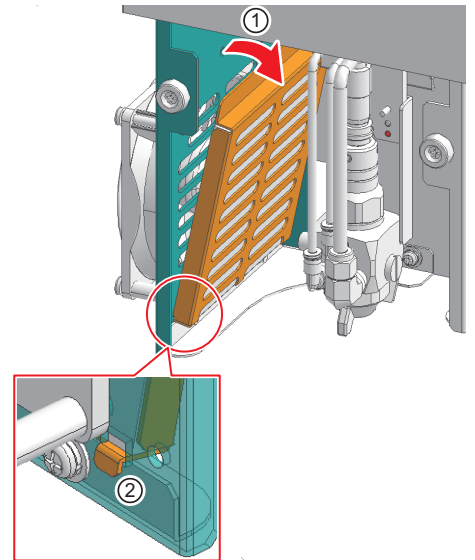
3 ミストフィルターカバーが倒れないように押えながらネジを外す。



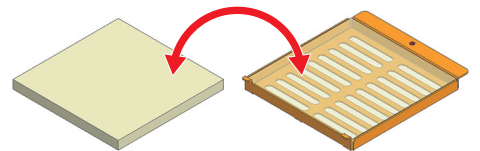
4

ミストフィルターカバーを外す。

- (1) ミストフィルターカバーの上側を少し倒す。
- (2) 下側のツメ (x2) を外しミストフィルターカバーを外す。

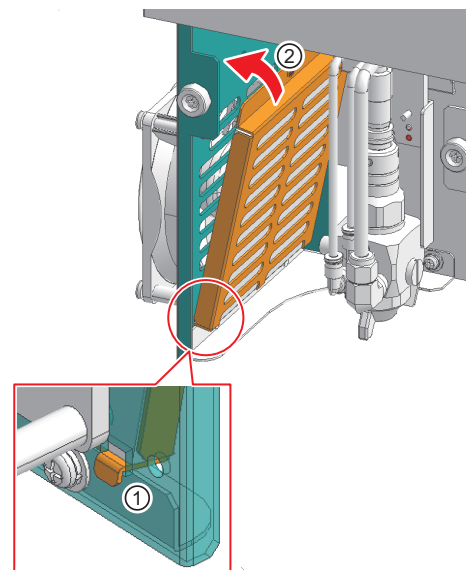
**5**

新しいフィルターに交換する。

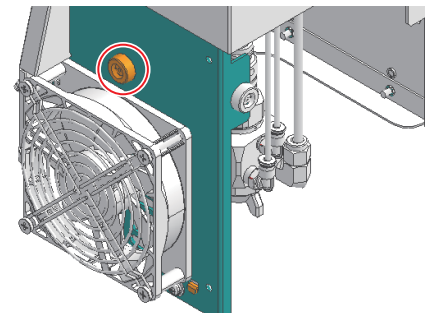
**6**

ミストフィルターカバーを取り付ける。

- (1) 下側のツメ (x2) を引っかけてミストフィルターカバーを付ける。

**7**

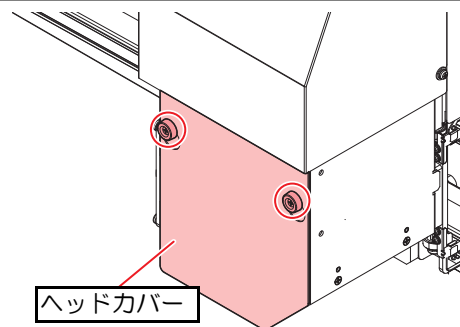
ネジを締めてミストフィルターカバーを固定する。



8

ヘッドカバーを取り付ける。

(1) ヘッドカバーを取り付け、ネジ (x2) を回して固定する。



エアキャップに溜まったメンテナンス液を排出する

ヘッドを長時間、漬け置きバットのメンテナンス液に浸けると、ノズル先端のエアキャップ内にメンテナンス液が溜まります。

この状態で塗布を開始すると、塗布中にワークの上にメンテナンス液が落ちることがあります。スリープモードから復帰する際は、自動で本メンテナンスと同じ動作を行います。スリープ復帰時以外にエアキャップ内のメンテナンス液を排出したい場合は、以下の手順に従って操作をしてください。

1

ローカル状態にする。

- ・リモート状態のときは、[REMOTE] キーを押してローカル状態にします。

< ローカル >

2

[VALVE] キーを押す。

- ・バルブテストへ移行します。

バルブテスト
ステウチ

[ENT]

3

[ENTER] キーを押す。

- ・自動でヘッドが捨て打ちバットの上へ移動します。

* ステウチ *
エキハ`ルブ` : OFF

4

[FUNCTION] キーを押して、開放するバルブを霧化バルブに切り替える。

* ステウチ *
ムカハ`ルブ` : OFF

5

[VALVE] キーを長押しして、霧化バルブを開放し、エアキャップ内に溜まったメンテナンス液を排出する。

- ・長押しすると連続してバルブを ON し、離すと OFF します。
- ・ノズルからメンテナンス液が出なくなるまで [VALVE] キーを長押ししてください。(10 秒程度)
- ・霧化バルブを開放するときは塗布剤を吐出しません。塗布剤の吐出状況を確認したい場合は、もう一度 [FUNCTION] キーを押して開放するバルブを液バルブに切り替えたあと、[VALVE] キーを長押ししてください。

* ステウチ *
ムカハ`ルブ` : ON

6

捨て打ちモードを終了する。

- ・[END] キーを押します。

エアキャップの清掃

エアキャップの清掃方法を説明します。

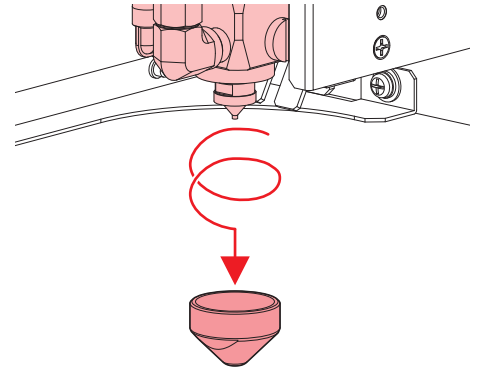
1 エアキャップを取り外す。



- エアキャップを取り外す際、エアキャップ内部に溜まった液が垂れることがあります。その場合、紙タオルなどで拭き取ってください。

● 丸吹きエアキャップ (細丸ノズル) を取り外す。

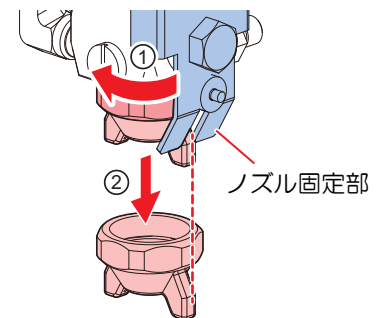
(1) 丸吹きエアキャップを回しながらヘッドから取り外す。



● 平吹きエアキャップ (丸/平面用ノズル) を取り外す。

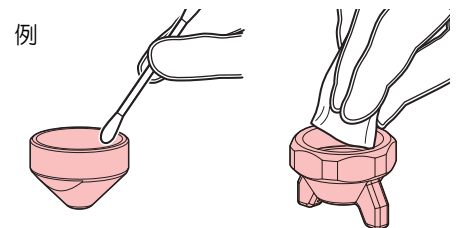
- ノズルヘッドは回転できます。エアキャップを取り外しやすい向きに回転して取り外してください。

(1) 平吹きエアキャップの上側のネジを緩める。
(2) 平吹きエアキャップを取り外す。



2 エアキャップを清掃する。

- 汚れを紙タオルや綿棒で拭き取ってください。



3 エアキャップを取り付ける。

- 取扱説明書の P.2-4 「エアキャップを取り付ける」

インクのメンテナンス

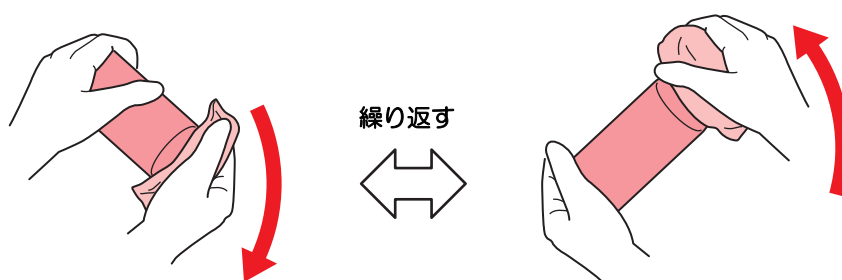
インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定して塗布するために、定期的にインクボトルを振ることをお勧めします。
UV インク：1か月に1回程度。

1 電源を切る。(☞ P.42)

- (1) 電源スイッチを切る。
- (2) 主電源スイッチを切る。

2 インクボトルを圧送タンクから取り出し、20回以上ゆっくりと左右に振る。

- ・インクボトルのフタをしっかりと締めて、紙タオルなどでインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



- ・ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- ・使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

経路にエアが入った場合の復旧手順

インク交換時に経路にエアが入ることがあります。その場合は手で捨て打ち (☞ 取扱説明書の P.2-15 「手で捨て打ちする」) を行い、塗布剤が安定して吐出するようになるまで [VALVE] キーを長押ししてください。

インクボトルを交換する



- ・インクボトル交換を行う際は、取扱説明書の P.ix 「塗布剤やインク、その他本機で使用されている液体について」をよくお読みのうえ、十分に理解してから作業を行ってください。手順と異なる方法で交換した場合、残量管理が正しく行われない場合があります。

1 ローカル状態で、[FUNCTION] キーを押す。

FUNCTION	[ENT]
マシンセッテイ	

2 [メンテナンス] を選択し、[ENTER] キーを押す。

FUNCTION	[ENT]
メンテナンス	

3 ▲ ▼ で [インクボトルコウカン] を選択し、[ENTER] キーを押す。

メンテナンス	[ENT]
インクボトル コウカン	



- インク残量が 0.3L 以上ある場合は確認画面が表示されます。残ったインクを再度使用する可能性がある場合は [END] キーを押して P.20 「インク登録情報をインク IC チップに書き戻す」を行ってください。
- タンクキャリブレーションが未実行の場合はインクボトルを交換できません。P.22 「タンクキャリブレーション」の [ノーマルモード] を実施してください。
- タンクキャリブレーションに失敗するなど、ロードセルに異常があるときは交換できません。

ザンリョウ 0.3L イジョウ アリ
コウケン シマスカ? [ENT]

ERROR 539
タンク キャリブレーション

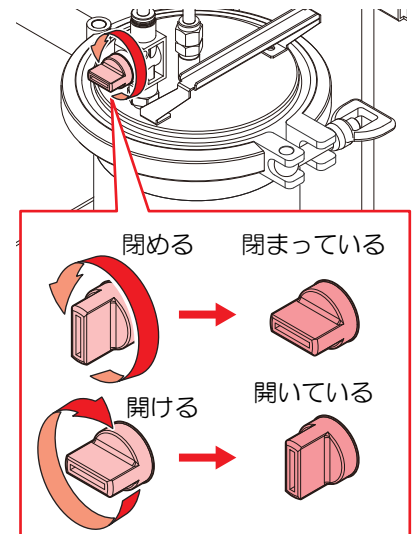
4

圧送タンクのエアバルブを閉める。

- エアバルブを閉めたら [ENTER] キーを押します。
- 安全のため、必ずエアバルブを閉めてください。



タンク ノ エアバルブ ラ
シメテクダサイ [ENT]

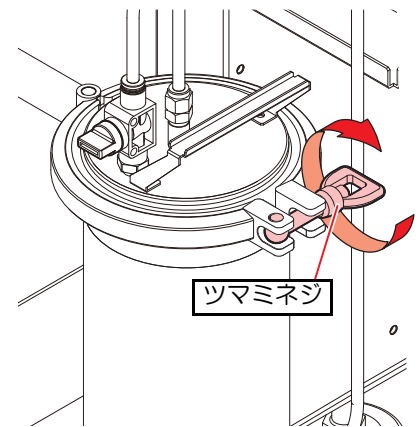
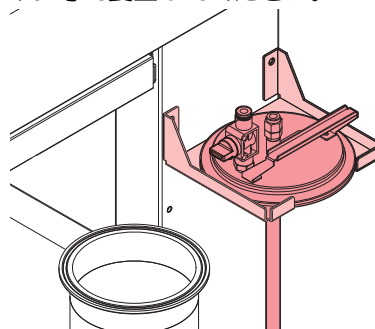


5

圧送タンクのツマミネジを緩めてタンクキャップを外す。



- タンク周辺を紙ワイブ等で養生してください。
- 外したタンクキャップはフタ受け皿に載せておきます。
- ガasketを傷つけないように注意してください。



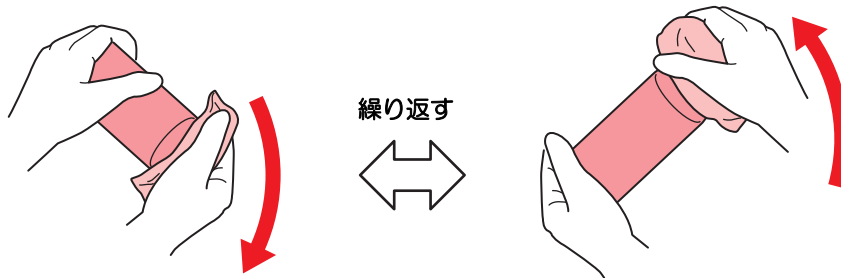
6

交換するインクボトルと IC チップを準備する。

7

インクボトルを取り出し、20回以上ゆっくりと左右に振る。

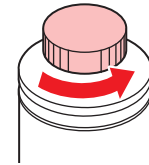
- インクボトルのフタをしっかりと締め、手袋を着用して紙タオルなどでインクボトルのフタを押さえ、インクを流すように左右に振ってください。



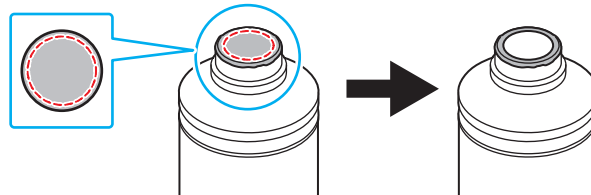
- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

8

インクボトルのフタを外す。



- インクボトルの口にシールが付いている場合は、カッターなどを使って丸く切り取ってください。切り取ったときにシールをボトル内に落とさないように注意してください。



9

インクボトルを交換する。

- 完了後、[ENTER] キーを押します。

インクボトルヲ
コウカン シテクダサイ [ENT]

10

タンクキャップを元に戻し、ツマミネジで固定する。

- 完了後、[ENTER] キーを押します。

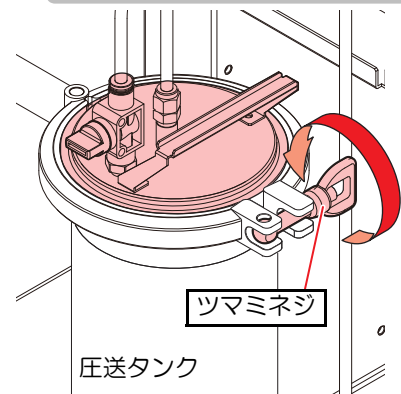
タンクのフタヲ シメテクダサイ
[ENT]



- ガasketが圧送タンクの溝に正しくはまっているか確認してください。
- ツマミネジを強く閉めてください。強く閉めないで正常に塗布できないことがあります。



- タンクキャップの上や圧送タンクの上に物を置かないでください。インク残量を正確に計測できなくなります。

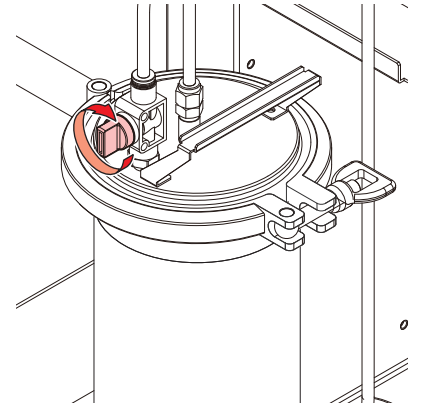


11

圧送タンクのエアバルブを開ける。

- 完了後、[ENTER] キーを押します。

タンク ノ エアバルブ ラ
アケテクダサイ [ENT]



12

[FUNCTION] キーを押して、タンクの残量確認を実行する。

- 正常に終了すると[ザンリョウ カクニン カンリョウ]と表示されます。

タンクザンリョウ カクニン
[FUNC] -> ジッコウ

ザンリョウ カクニン カンリョウ
[ENT]



- タンクに振動を与えないでください。残量が正しく計測できない原因となります。
- [カクニン シッパイ シマシタ]と表示された場合、[リトライ] (手順 4(P.16) から再度実行) または P.22 「タンクキャリブレーション」を実行してください。何度実行しても失敗する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

カクニン シッパイ シマシタ
リトライ <> キャリブレーション

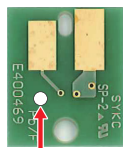
13

タンク横のインクICチップ差込口に、インクICチップを差し込む。

トウロクスル インク IC チップ
セット シテクダサイ



- インクと一緒に梱包されているインク IC チップを差し込んでください。インク IC チップには、インクカラーやインク残量、消費有効期限などの情報が書き込まれています。異なる IC チップを差し込んだ場合、塗布することができません。
- インク IC チップについて
インク IC チップのマークは、色情報を示しています。

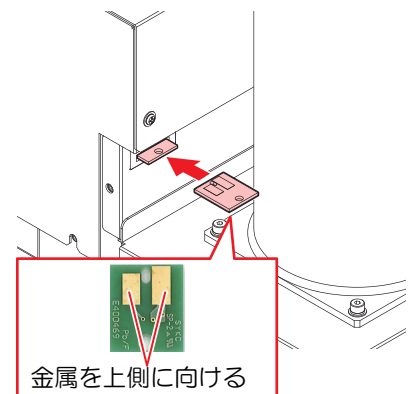


マーク位置

インクカラー	表示マーク
クリア	○○ (白丸が2個)



- IC チップは金属が付いている方を上側に向け、金属を奥側にして差し込んでください。間違えて差し込むと、本機の故障や IC チップ破損の原因となります。
- IC チップの金属部分には触れないでください。静電気による IC チップの破損、汚れや傷による IC 読み取り不良の原因となります。



金属を上側に向ける


・インク IC チップを差し込むと、本機でインク IC の読み込みを開始します。

** インク IC シュウリョウ **
シバラク オマチクダサイ

・登録可能なインク IC チップの場合、インク情報が表示されます。確認後、[ENTER] キーを押します。

TCU-100 Clear 1.0L
シヨウキゲン：2021/09

・ワーニングメッセージが表示された場合は、以下の内容を参照して対処してください。

メッセージ	原因	対処方法
インク キゲンギレ [ENT]	インクの消費有効期限が切れた。	新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。塗布することは可能です。
インク キゲンギレ (1 カゲツ) [ENT]	インクの消費有効期限から、1 か月経過した。	
インク IC トウロク フカ シヨウズミ IC	登録済みのインク IC チップが差し込まれた。	新しいインク IC チップに交換してください。
インク IC トウロク フカ ***** (エラー名)	[エラー名]に表示される不具合が発生し、インク IC を登録できない。	正しいインク IC チップをセットしてください。
インク IC トウロク フカ インク キゲンギレ (2 カゲツ)	インクの消費有効期限から、2 か月経過した。	新しいインクに交換してください。塗布することができません。
インク IC トウロク フカ インクタイプ	インク IC チップに登録されているインクの種類が本機で使用できない種類である。	正しいインク種のインク IC チップをセットしてください。
インク IC トウロク フカ インクカラー	インク IC チップに登録されているカラーが本機で使用できないカラーである。	正しいインクカラーのインク IC チップをセットしてください。
インク IC トウロク フカ インク IC イジョウ	インク IC チップの情報にエラーが発生した。	<ol style="list-style-type: none"> 1. インク IC チップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。 2. 電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。  P.42「電源のオフ」、P.41「電源のオン」 3. 新しいインク IC チップに交換してください。

14

[FUNCTION] キーを押して、インク IC の登録を実行する。

インク IC トウロク
[FUNC] -> ジッコウ

・完了後、[ENTER] キーを押します。



・インク IC の登録が終わるまで、インク IC チップを外さないでください。登録の途中で IC インクチップを外すと正しく登録できません。

コウカン カンリョウ シマシタ
[ENT]

15

経路充填を行わない場合は、 キーを押しインク交換を終了する。

経路充填を行う場合は  キーを押す。

ケイロジュウテン シマスカ?
NO < > YES

• [ENTER] キーを押すと、捨て打ち位置に移動します。

ステウチイチ ヘ イドウシマス
[ENT]

16 手動でノズルからインクを吐出する。

* ステウチ *
エキバルブ : OFF



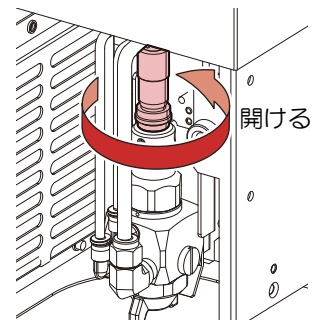
• ノズルを取り付けた状態であることを確認してください。ノズルを取り外した状態で塗布剤を吐出すると、霧状に飛散するおそれがあり、大変危険です。



• 塗布剤が安定して吐出できるようになるまで [VALVE] キーを長押しします。
• [VALVE] キーを離すと、吐出が止まります。



• [VALVE] キーをしばらく押してもノズルからインクが出ない場合は、マイクロメーターヘッドを回転させノズルを大きく開いてください。



17 捨て打ちモードを終了する。

• [END] キーを押します。

< ローカル >

18 捨て打ちバット内の廃液を廃棄しカウントをクリアする。(🗑️ P.8)

インク登録情報をインク IC チップに書き戻す

インクが残っていても新しいインクボトルに交換することができます。
やむを得ず交換する場合は、以下の手順を参照して本機に登録されているインク情報をインク IC チップに書き戻してください。
書き戻しをすることで、インクボトルを再利用することができます。

1 ローカル状態で、[FUNCTION] キーを押す。

FUNCTION
マシンセッテイ [ENT]

2 [メンテナンス] を選択し、[ENTER] キーを押す。

FUNCTION
メンテナンス [ENT]

3 ▲ ▼ で [インク IC カキモドシ] を選択し、[ENTER] キーを押す。

メンテナンス
インク IC カキモドシ [ENT]

4 タンク横のインク IC チップ差込口に登録時に使用したインク IC チップを差し込む。

カキモドス インク IC ヲ
セツシテクダサイ



- ・インクボトルを登録したインク IC チップを使用してください。その他のインク IC チップは使用することができません。[インク IC カキモドシ フカ]の下にエラー対象となる項目[インクロット/インクカラー/インクキゲン/インクタイプ]が表示されます。

インク IC カキモドシ フカ
インクロット

5

[FUNCTION] キーを押して、インク IC の書き戻しを実行する。

インク IC カキモドシ
[FUNC] -> ジッコウ



- ・インク IC の書き戻しが終わるまで、インク IC チップを外さないでください。

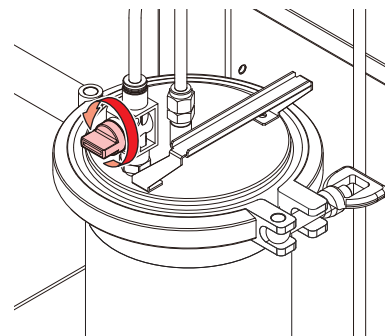
6

[カキモドシ カンリョウ]と表示されたら、インク IC チップを取り外す。

カキモドシ カンリョウ
インク IC ヲハズシテクダサイ

7

圧送タンクのエアバルブを閉める。

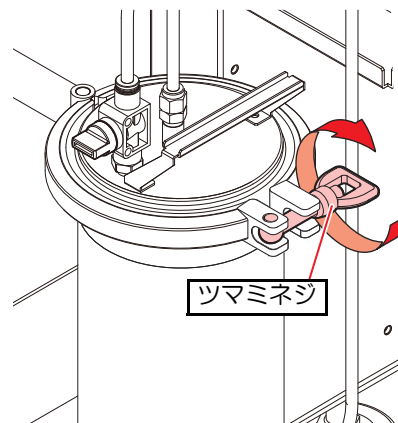
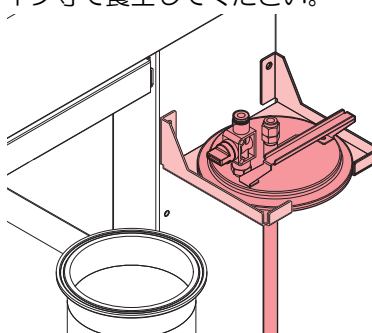


8

圧送タンクのつまみネジを緩めてタンクキャップを外す。



- ・タンク周辺を紙ワイブ等で養生してください。
- ・外したタンクキャップはフタ受け皿に載せておきます。
- ・ガスケットを傷つけないように注意してください。



9

インクボトルを取り出してインクボトルにフタをする。

10

インクボトルをインク IC チップと共に保管する。

タンクキャリブレーション

本機はインクの残量を圧送タンク下部に内蔵されているロードセルセンサーで管理しています。インク残量表示と実際のインク残量に差がある場合や、ワーニングメッセージ「インクタンクセンサーイջョウ」「タンクキャリブレーション」が発生したときは、次の作業をしてください。

ロードセルセンサーの補正方法について

ロードセルセンサーの補正方法には、次の2種類があります。

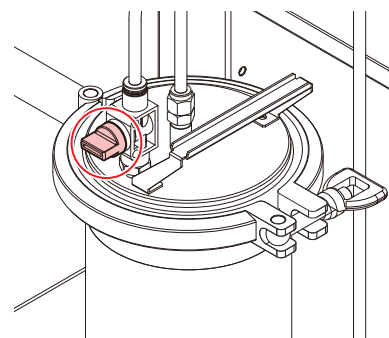
ノーマル：1kgのおもりを使用して、高精度な補正ができます。

ゼロ調整：おもりを使用せずに補正を行うことができます。





補正作業を簡単にこなしますが、“ノーマル”での調整より精度が落ちます。



- ・キャリブレーション実施前、圧送タンクのエアバルブが閉まっていることを確認してください。



補正方法“ノーマル”で補正する

1	ローカル状態で、[FUNCTION] キーを押す。	FUNCTION マシンセッテイ [ENT]
2	[メンテナンス] を選択し、[ENTER] キーを押す。	FUNCTION メンテナンス [ENT]
3	  で [タンク キャリブレーション] を選択し、[ENTER] キーを押す。	メンテナンス タンク キャリブレーション [ENT]
4	[ノーマル] を選択し、[ENTER] キーを押す。 ・   : 切り替え (ゼロちょうせい、ノーマル)	タンク キャリブレーション : ノーマル
5	圧送タンクのエアバルブが閉まっていることを確認し、[ENTER] キーを押す。	タンク ノエアバルブラ シメテクダサイ [ENT]

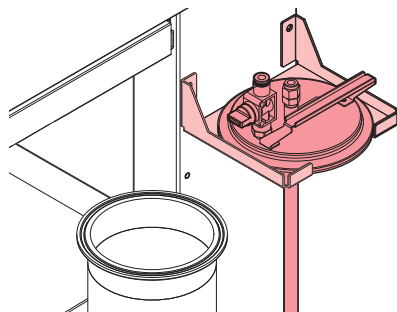
6

タンクキャップを外し、タンクからインクボトルを取り出す。



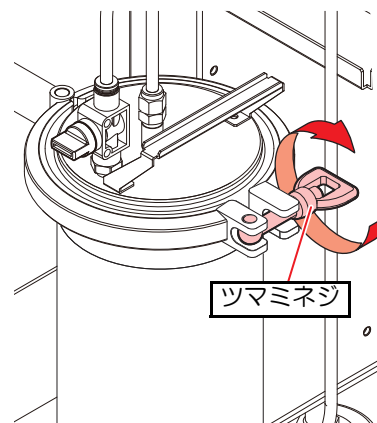
- タンク周辺を紙ワイプ等で養生してください。
- ガasketを傷つけないように注意してください。

- (1) ツマミネジを回す。
- (2) タンクキャップを外す。
 - 外したタンクキャップはフタ受け皿に載せておきます。



- (3) タンクからインクボトルを取り出す。
- (4) 完了後、[ENTER] キーを押す。

インクボトルヲトリダシテクダサイ [ENT]

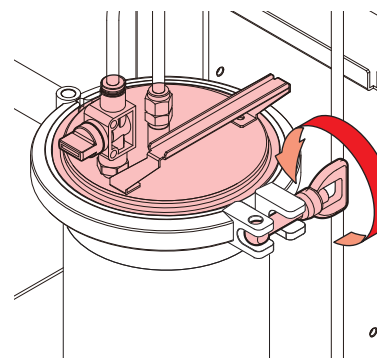


7

タンクキャップを元に戻し、ツマミネジを軽く閉める。

- 完了後、[ENTER] キーを押します。

タンクノフタヲシメテクダサイ [ENT]

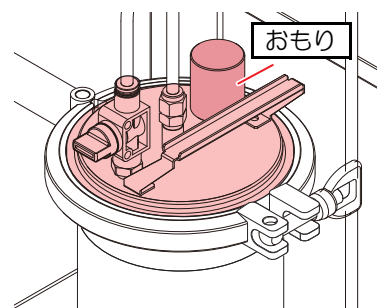


8

タンクキャップの上に1Kgのおもりを載せる。

- 完了後、[ENTER] キーを押します。

オモリヲセット (1kg) [ENT]




9**[FUNCTION] キーを押して、1回目のキャリブレーションを開始する。**タンク キャリブレーション
[FUNC] -> ジッコウ

- タンクにおもりがある状態でのキャリブレーションが実施されます。処理時間は最大で約1分間です。
- キャリブレーションが正常に完了した場合、次工程の画面が表示されます。

オモリ ヲ ハズシテクダサイ

[ENT]



- タンクに振動を与えないでください。キャリブレーションに失敗する恐れがあります。キャリブレーションに失敗した場合、 キーを押して **手順 4(P.22)** に戻ってやり直してください。

キャリブレーション シツパイ
リトライ < > キャンセル**10****タンクキャップの上からおもりを取り除く。**

- 完了後、[ENTER] キーを押します。

11**[FUNCTION] キーを押して、2回目のキャリブレーションを開始する。**タンク キャリブレーション
[FUNC] -> ジッコウ

- タンクにおもりがない状態でのキャリブレーションが実施されます。処理時間は最大で約1分間です。

** キャリブレーション **
オマチクダサイ ****

- キャリブレーションが正常に終了すると「キャリブレーションカンリョウ」と表示されます。
[ENTER] キーを押して次の手順に進んでください。

キャリブレーション カンリョウ

[ENT]



- タンクに振動を与えないでください。キャリブレーションに失敗するおそれがあります。
- キャリブレーションに失敗した場合、 キーを押して、**手順 4(P.22)** に戻ってやり直してください。

キャリブレーション シツパイ
リトライ < > キャンセル**12****最初に外したインクボトルを再度セットする。**

- 完了後、[ENTER] キーを押します。

インクボトル ヲ
セット シテクダサイ

[ENT]

13**タンクキャップを元に戻し、ツマミネジで固定する。**

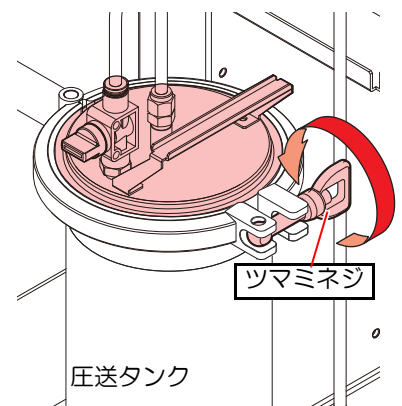
- 完了後、[ENTER] キーを押します。

タンクノフタ ヲ シメテクダサイ
[ENT]

- ガasketが圧送タンクの溝に正しくはまっているか確認してください。
- ツマミネジを強く閉めてください。強く閉めないで正常に塗布できないことがあります。



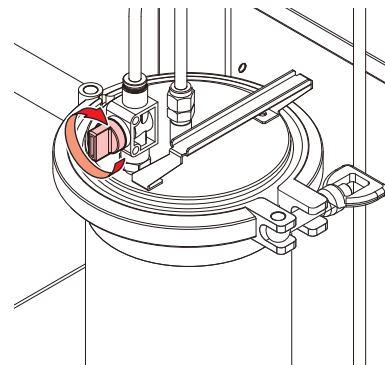
- タンクキャップの上や圧送タンクの上に物を置かないでください。インク残量を正確に計測できなくなります。




14 圧送タンクのエアバルブを開ける。

- 完了後、[ENTER] キーを押します。

タンク ノ エアバルブヲ
アケテクダサイ [ENT]



15  キーを押してインク残量の計測を実施する。

ザンリョウ ケイソク シマスカ？
NO < > YES



16 [FUNCTION] キーを押して、インク残量の計測を開始する。

- 残量計測が実行されます。
- 正常に終了すると、「ザンリョウカクニンカンリョウ」と表示されます。
- [ENTER] キーを押して終了します。

タンク ザンリョウ カクニン
[FUNC] -> ジッコウ

ザンリョウ カクニン カンリョウ
[ENT]



- タンクに振動を与えないでください。残量計測に失敗するおそれがあります。
- 残量の計測に失敗した場合、 キーを押して [手順 12\(P.24\)](#) に戻り、[ENTER] キーでメニューを進めて再計測してください。再計測しても失敗する場合は、 を押して再度キャリブレーションを実施してください。

カクニン シツパイ シマシタ
リトライ< > キャリブレーション

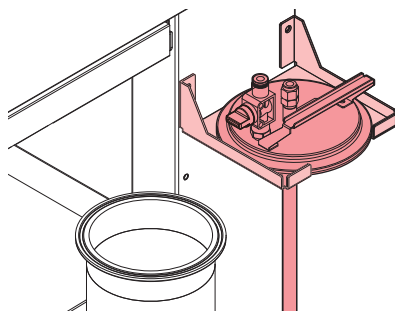
補正方法“ゼロチョウセイ”で補正する

- | | | |
|----------|--|----------------------------------|
| 1 | ローカル状態で、[FUNCTION] キーを押す。 | FUNCTION
マシンセッテイ [ENT] |
| 2 | [メンテナンス] を選択し、[ENTER] キーを押す。 | FUNCTION
メンテナンス [ENT] |
| 3 | ▲▼ で [タンク キャリブレーション] を選択し、[ENTER] キーを押す。 | メンテナンス
タンク キャリブレーション [ENT] |
| 4 | [ゼロチョウセイ] を選択して、[ENTER] キーを押す。
●▲▼: 切り替え (ゼロチョウセイ、ノーマル) | タンク キャリブレーション
: ゼロチョウセイ [ENT] |
| 5 | 圧送タンクのエアバルブが閉まっていることを確認し、[ENTER] キーを押す。 | タンク ノ エアバルブ
シメテクダサイ [ENT] |
| 6 | タンクキャップを外し、タンクからインクボトルを取り出す。 | インクボトルヲ トリダシテクダサイ [ENT] |

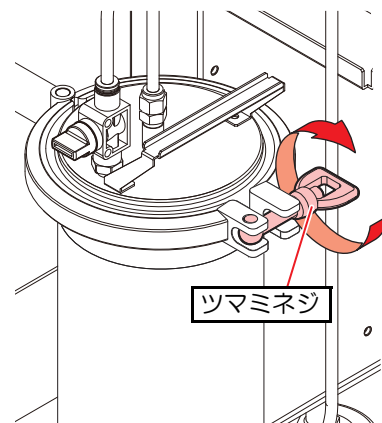


- ・タンク周辺を紙ワイブ等で養生してください。
- ・ガスケットを傷つけないように注意してください。

- (1) ツマミネジを回す。
- (2) タンクキャップを外す。
 - ・外したタンクキャップはフタ受け皿に載せておきます。

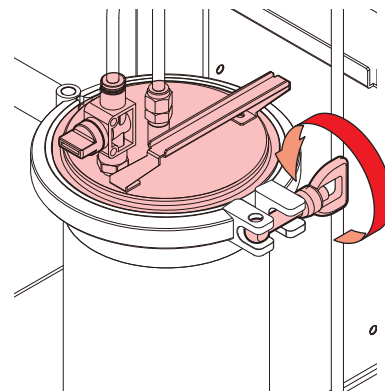


- (3) タンクからインクボトルを取り出す。
- (4) 完了後、[ENTER] キーを押す。



- 7** タンクキャップを元に戻し、ツマミネジを軽く閉める。
 ・完了後、[ENTER] キーを押します。

タンクノフタ ヲ シメテクダサイ
 [ENT]



- 8** [FUNCTION] キーを押して、キャリブレーションを開始する。

タンク キャリブレーション
 [FUNC] -> ジッコウ


- 9** タンクに何も入っていない状態でキャリブレーションが実施される。

** キャリブレーション **
 オマチクダサイ ****


- ・処理時間は最大で約1分間です。
- ・キャリブレーションが正常に終了すると「キャリブレーションカンリョウ」と表示されます。
 [ENTER] キーを押して終了します。

キャリブレーション カンリョウ
 [ENT]




- ・キャリブレーションに失敗した場合、 キーを押して、[手順 4\(P.26\)](#) に戻ってやり直してください。

キャリブレーション シツパ°イ
 リトライ< >キャンセル

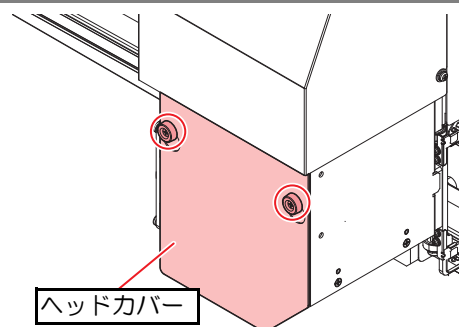
- 10** 以降の作業工程は  [P.22「補正方法“ノーマル”で補正する」](#)の[手順 12\(P.24\)](#) 以降を参照して実施する。

ノズルキャップを付ける

電源をオフした際は、必ずノズルに遮光用のノズルキャップを付けてください。

- 1** 電源を切る。 ( [P.42](#))
- (1) 電源スイッチを切る。
 - (2) 主電源スイッチを切る。

- 2** ヘッドカバーを外す。
- (1) ネジ (x2) を回して緩める。
 - (2) ヘッドカバーを上を持ち上げながら外す。



3

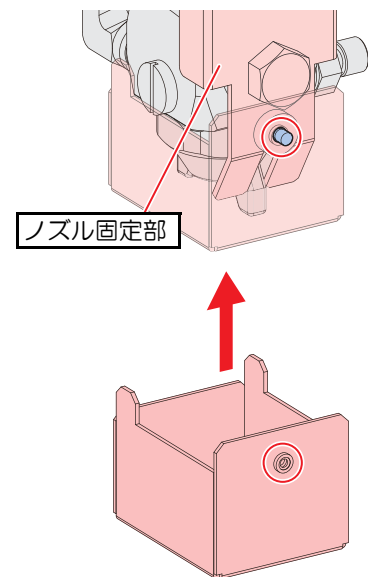
手動でヘッドを持ち上げて左に移動する。

- ヘッドをバットの位置からずらしてください。

4

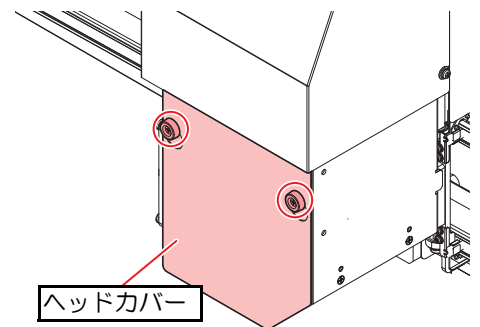
ノズルキャップを付ける。

- ノズルキャップの穴がノズル固定部の突起に合うように、ノズルにノズルキャップを付けてください。
- ノズルの先端にメンテナンス液や塗布剤が付いているときは、紙タオルで拭き取ってください。

**5**

ヘッドカバーを取り付ける。

- (1)ヘッドカバーを取り付け、ネジ(x2)を回して固定する。



- 使用する際は必ずノズルキャップを外してください。(取扱説明書のP.2-3「ノズルキャップが付いている場合は外す」)起動時、ディスプレイにメッセージが表示されます。

ワイパーを交換する

ワイパーで、ヘッドノズルに付着したインクを拭き取っています。

汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面を傷つけて、吐出不良の原因になります。

ディスプレイに[ワイパ コウカン]が表示されたら、新しいワイパー (SPC-0890) に交換してください。

1

ローカル状態で、[FUNCTION] キーを押す。

FUNCTION
マシンセッテイ [ENT]

2

▲▼で[メンテナンス]を選択し、[ENTER] キーを押す。

FUNCTION
メンテナンス [ENT]

3

▲ ▼ で[ワイパ コウカン] を選択し、[ENTER] キーを押す。

• [ヘッド ライドウ シマス] が表示されます。

メンテナンス
ワイパ コウカン [ENT]

4

[FUNCTION] キーを押して、ヘッドを退避させる。

• [シバラク オマチクダサイ] が表示されます。

ヘッド ライドウ シマス
[FUNC] -> ジッコウ

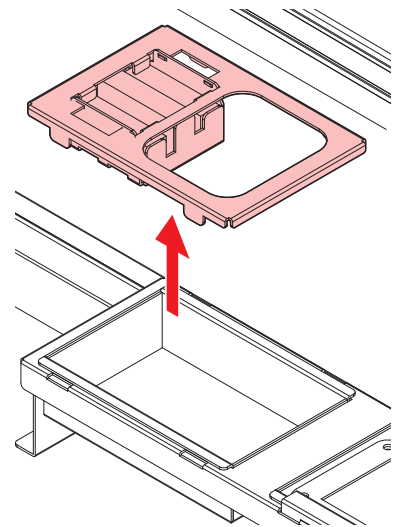
シバラク オマチクダサイ

5

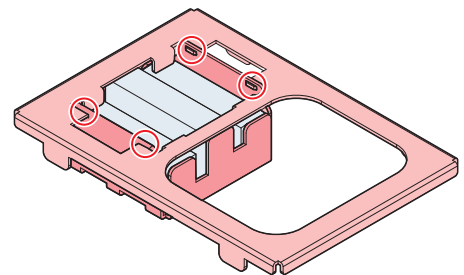
ヘッドが停止したら、ワイパーを交換する。

(1) フタをワイパーホルダーごと取り出す。

ワイパ コウカン シテクダサイ
カンリョウ -> [ENT]

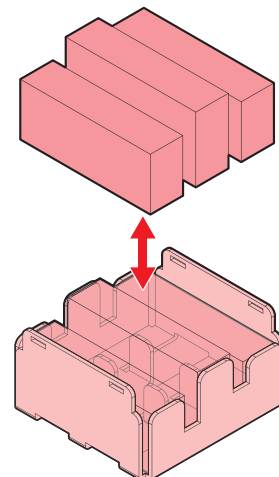


(2) ツメ (x4) を外し、ワイパーホルダーを外す。

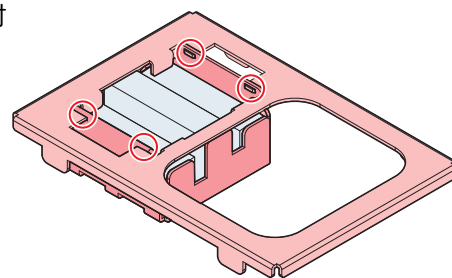


(3) 新しいワイパー (x3) に交換する。

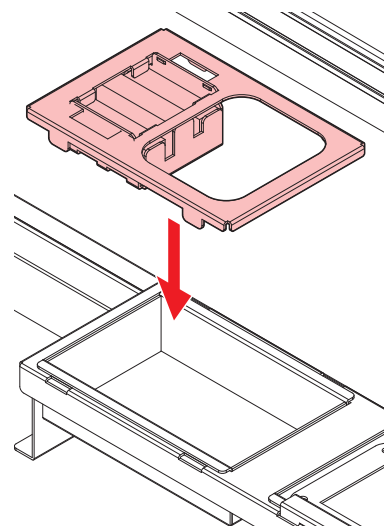
• 真ん中のワイパーは高め、両端のワイパーは低めになっています。間違えないように交換してください。



- (4) ツメ (x4) を引っかけて、ワイパーホルダーをフタに取り付ける。
• カチッと音が出るまで、ツメをはめ込んでください。



- (5) フタをバットにはめる。
• 取り付け方向に注意してください。



6

ワイパーを交換後、[ENTER] キーを押す。

- ワイプ回数がクリアされ、ヘッドが元の位置に戻ります。

* ワイピングカイスウ クリア *

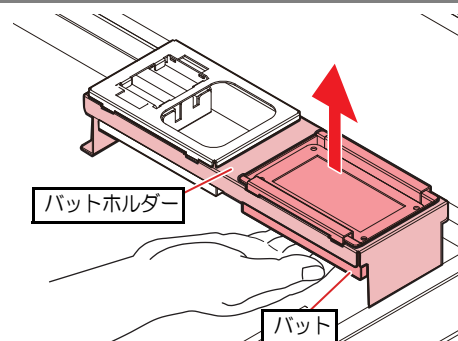
フラッシングメッシュの交換

捨て打ちバット内のメッシュが汚れた場合、フラッシングメッシュ (SPC-0891) を交換してください。

1

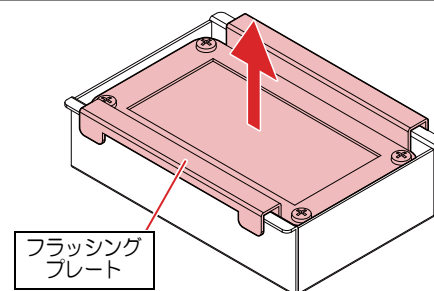
バットホルダーからバットを取り出す。

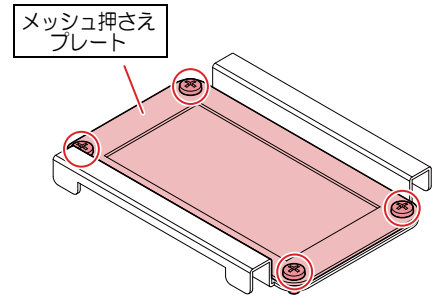
- バットの下面に手を入れてバットを上押しして取り出します。



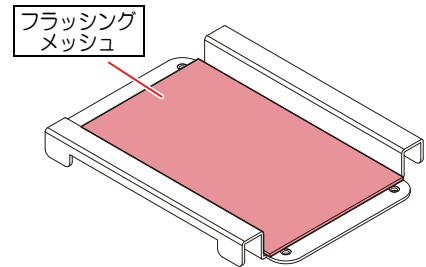
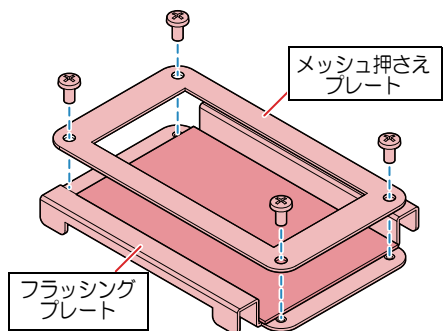
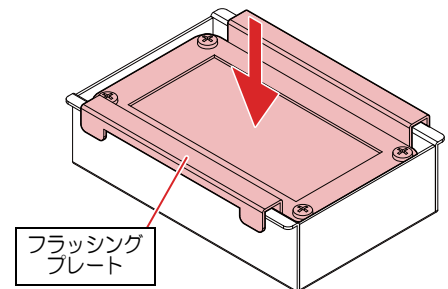
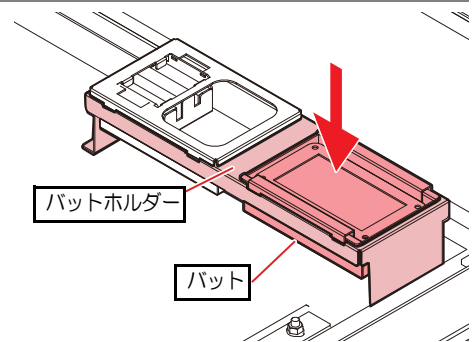
2

フラッシングプレートを取り外す。



3 メッシュ押さえプレートを取り外す。(ネジ x4)**4** フラッシングメッシュを新しいものに交換する。

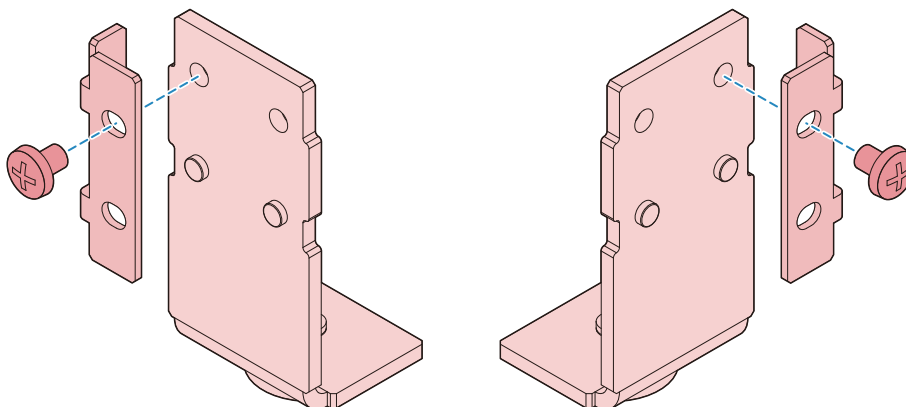
- 新しいフラッシングメッシュを付ける際、フラッシングメッシュがネジ穴にかからないようにしてください。

**5** フラッシングプレートにメッシュ押さえプレートを取り付ける。(ネジ x4)**6** フラッシングプレートをバットにはめる。**7** バットホルダーにバットを戻す。

ボードホルダーの交換

ボードホルダーを紛失した、または破損した場合、ボードホルダー (SPC-0900) を交換してください。

- 1 交換したいボードホルダーの向きを確認してネジ (x1) で止める。



インクを排出する

インクや塗布剤を取り扱う場合は、[P.ix 「塗布剤やインク、その他本機で使用されている液体について」](#)をよくお読みのうえ、十分に理解してから作業を行ってください。



- インクやメンテナンス液、その他本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口に入ったりするおそれがあります。

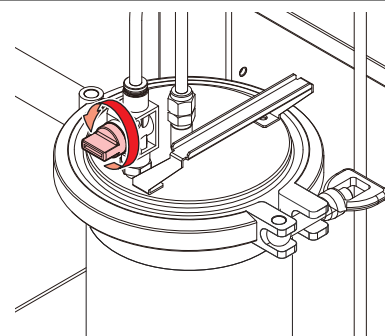
- 1 インク登録情報をインク IC チップに書き戻す。

([P.20 「インク登録情報をインク IC チップに書き戻す」](#))



- インクが残っている場合は、必ず書き戻しを行ってください。

- 2 圧送タンクのエアバルブを閉める。

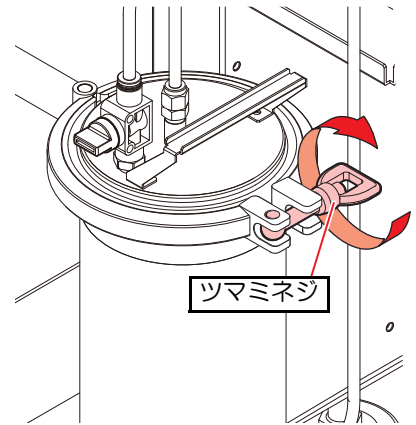
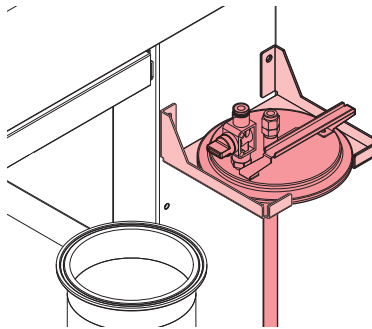


3

圧送タンクのツマミネジを緩めてタンクキャップを外す。



- タンク周辺を紙ワイプ等で養生してください。
- 外したタンクキャップはフタ受け皿に載せておきます。
- ガasketを傷つけないように注意してください。

**4**

インクボトルを取り出してインクボトルにフタをする。

5

インクボトルをインク IC チップと共に保管する。

6

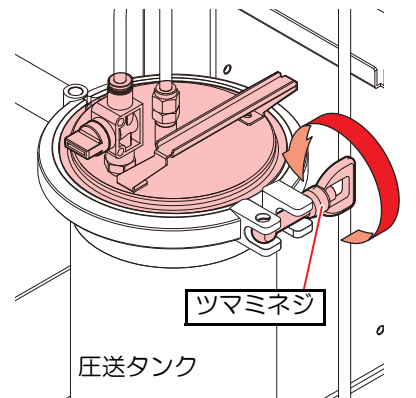
圧送タンクの中に空のインクボトルまたは容器を入れる。

7

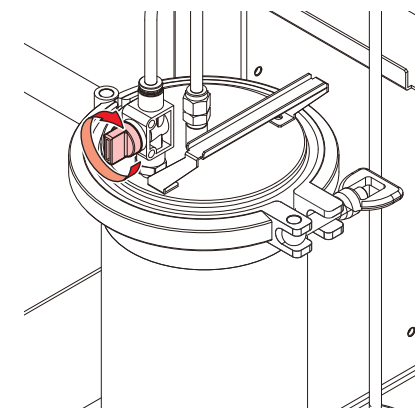
タンクキャップを元に戻し、ツマミネジで固定する。



- ガasketが圧送タンクの溝に正しくはまっているか確認してください。
- ツマミネジを強く閉めてください。強く閉めないで正常に吐出できないことがあります。

**8**

圧送タンクのエアバルブを開ける。

**9**

[END] キーを数回押して、ローカルモードに戻る。


< ローカル >

10  のいずれかを押し、ジョグモードに入る。

• ジョグモードに入ると、ヘッドが塗布パネル上に移動します。

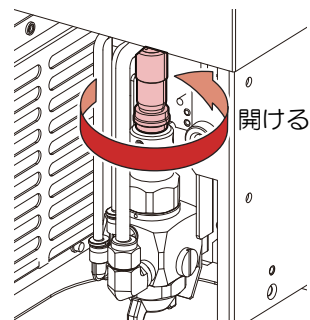
< イドゥ >
シバラク オマチクダサイ

11 ヘッドから排出するインクを入れる容器(容積500ml以上)を用意し、ヘッドの下に設置する。

• ヘッドは、, [Z-UP], [Z-DOWN] キーを操作し、容器を設置しやすい任意の位置に移動させてください。

< イドゥ >
0.0 0.0

12 マイクロメーターヘッドを反時計方向に大きく回転させノズルを十分に開く。



13 [VALVE] キーを長押しし、ヘッドからインクを排出する。

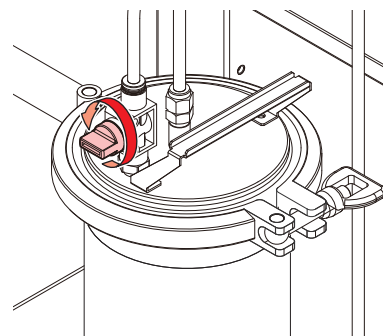
• 経路からインクが全て排出され、エアが出るまで実行する。



• [VALVE] キーを離すと、吐出が止まります。エアが出るようになったら、すぐに [VALVE] キーを離し、吐出を止めてください。霧状に飛散し大変危険です。

14 ヘッドから排出し容器に溜まったインクを廃棄する。

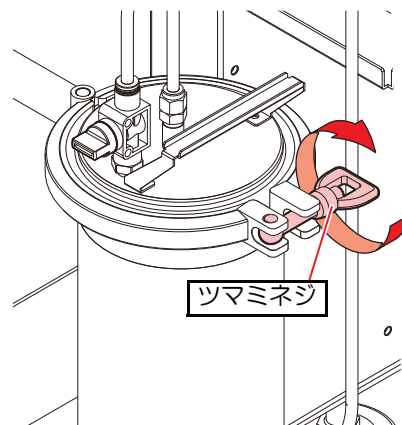
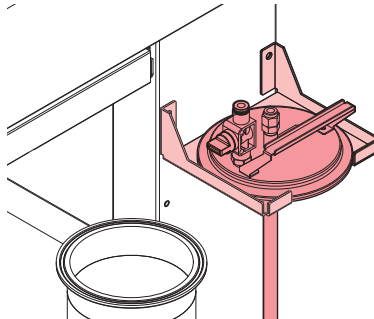
15 圧送タンクのエアバルブを閉める。



16 圧送タンクのツマミネジを緩めてタンクキャップを外す。



- タンクキャップからインクが垂れるので注意してください。
- タンク周辺を紙ワイプ等で養生してください。
- 外したタンクキャップはフタ受け皿に載せておきます。
- ガasketを傷つけないように注意してください。



17 手順 6 で圧送タンクに入れた容器を取り出す。

- 中に溜まったインクは廃棄してください。

インク経路を洗浄する

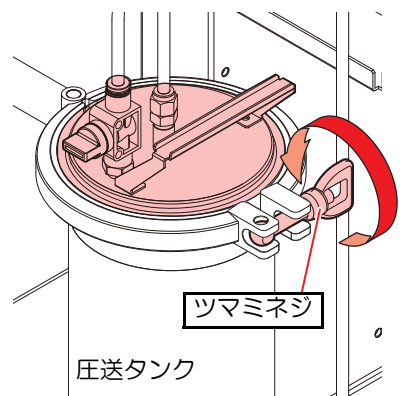
インクの排出（[P.32「インクを排出する」](#)）を行ったのち、経路をメンテナンス液で洗浄します。洗浄にはメンテナンス液 07 (1L ボトル、品番：ML007-Z-BA) を使用してください。

1 圧送タンクにメンテナンス液のボトルを入れる。

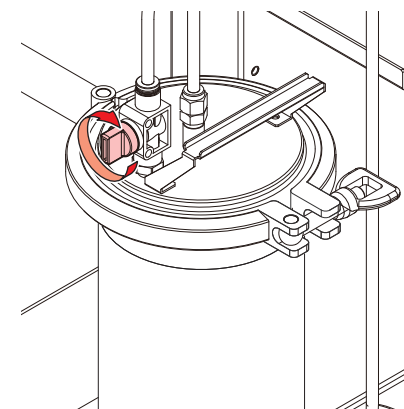
2 タンクキャップを元に戻し、ツマミネジで固定する。



- ガasketが圧送タンクの溝に正しくはまっているか確認してください。
- ツマミネジを強く閉めてください。強く閉めないで正常に吐出できないことがあります。




3 圧送タンクのエアバルブを開ける。



4

ヘッドから排出するメンテナンス液を入れる容器を用意し、JOGモードでヘッドの下に設置する。

- ヘッドは、, [Z-UP], [Z-DOWN] キーを操作し、容器を設置しやすい任意の位置に移動させてください。

< イドゥ >	
0.0	0.0

5

[VALVE] キーを長押しし、ヘッドからメンテナンス液を吐出する。



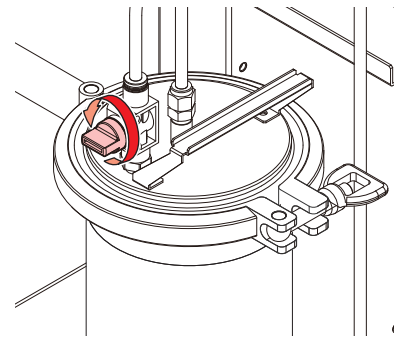
- [VALVE] キーを離すと、吐出が止まります。
- 十分に洗浄するため、メンテナンス液は 500ml 以上を目安に吐出してください。

6

メンテナンス液を十分に吐出したら、[VALVE] キーから手を離し、容器に溜まったメンテナンス液を廃棄する。

7

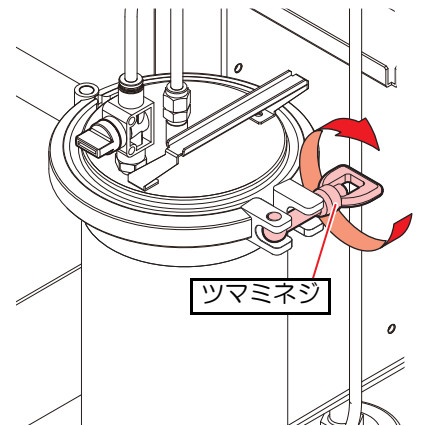
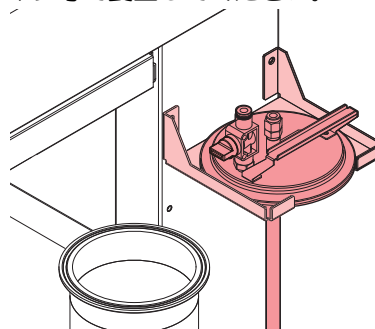
圧送タンクのエアバルブを閉める。

**8**

圧送タンクのツマミネジを緩めてタンクキャップを外す。



- タンクキャップからメンテナンス液が垂れるので注意してください。
- タンク周辺を紙ワイブ等で養生してください。
- 外したタンクキャップはフタ受け皿に載せておきます。
- ガasketを傷つけないように注意してください。

**9**

圧送タンク内のボトルを取り出す。

10





圧送タンク内に空のインクボトルまたは容器を入れ、手順 2 ～手順 9 を繰り返す。

- 経路からメンテナンス液を取り除きます。



- [VALVE] キーを長押しして排出する際、エアーが出るようになったら、すぐに [VALVE] キーを離し、吐出を止めてください。霧状に飛散し大変危険です。



- 長期間使用しない場合は、排出・経路洗浄のあと、あわせて下記も行ってください。
 - 浸け置きバットのメンテナンス液を廃棄（参考： P.5「浸け置きバットへのメンテナンス液の補充」）
 - 捨て打ちバット内のインクを廃棄（ P.8「捨て打ちバットの点検 / 廃棄」）
 - エアキャップの清掃（ P.14「エアキャップの清掃」）
 - 電源を OFF し、ノズルキャップを付ける（ P.27「ノズルキャップを付ける」）

塗布確認を行う



- 一日の作業の前に必ず実施してください。
- 塗布条件やノズルを付け替えた場合は、テスト塗布を行ってください。

テスト塗布では、次の項目を確認します。

確認するポイント	確認する内容	参照先
塗布幅が変動する	経路にエアが混入していませんか？	☞ P.15「経路にエアが入った場合の復旧手順」
	エアキャップ内に凝集物はありませんか？	☞ P.14「エアキャップの清掃」
塗布剤が散らばる、かすれる	経路にエアが混入していませんか？	☞ P.15「経路にエアが入った場合の復旧手順」
	エアキャップは緩んでいませんか？	☞ P.14「エアキャップの清掃」
	タンク内の塗布剤の残量が少なくなっていますか？	☞ 取扱説明書の P.1-14「インクニアエンドが表示されたとき」
	塗布剤の吐出量が少なくなっていますか？	☞ 取扱説明書の P.2-6「流量調整を行う」



- 塗布確認を行う際は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクミストの飛散やインクの液垂れにより、皮膚に付着したり、目や口に入ったりするおそれがあります。

塗布確認を行う

塗布開始点、終点での塗布品質や、塗布幅の変動がないかを確認します。

1	<p>ローカル状態にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • リモート状態のときは、[REMOTE] キーを押してローカル状態にします。 	<ローカル>
2	<p>[VALVE] を押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バルブテストへ移行します。 	バルブテスト ステウチ [ENT]
3	<p> で [トフ カクニン] を選択し、[ENTER] キーを押す。 </p>	バルブテスト トフ カクニン [ENT]
4	<p> で [X ナガサ] を選択し、塗布確認の X 軸方向の長さを表示させ、変更する場合は [ENTER] キーを押して数値を変更する。 </p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定値：10mm ～ 450mm 	X ナガサ = 100mm
5	<p> で [Y オフセット] を選択し、繰り返し塗布する場合の Y 軸方向のオフセットを表示させ、変更する場合は [ENTER] キーを押して数値を変更する。 </p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定値：10mm ～ 50mm 	Y オフセット = 50mm

6

▲ ▼ で [Z タカサ] を選択し、塗布時の Z 軸高さを表示させ、変更する場合は [ENTER] キーを押して数値を変更する。

・設定値：5mm～50mm

Z タカサ
= 10mm

7

塗布条件の設定が完了したら ▲ ▼ で [トフ カクニン] を選択し、[FUNCTION] キーを押して、塗布確認を実行する。

トフ カクニン
[FUNC] → ジッコウ

8

終了するときには、[END] キーを押す。



・ [X 長さ]、[Y オフセット]、[Z 高さ] の値は保存されます。値を変更しない場合は設定する必要はありません。



・ 連続して塗布確認を実行すると、前回の塗布位置から Y オフセットだけ移動した位置に塗布します。
・ ローカルモードに戻し、再度塗布確認を実行すると、Y 軸方向の塗布位置はリセットされ、最初の位置に戻って塗布します。

FineCoat による塗布

FineCut/Coat9 はミマキエンジニアリング製の Adobe® Illustrator® のプラグインソフトウェアです。詳しくは FineCut/Coat9 リファレンスガイドをご覧ください。

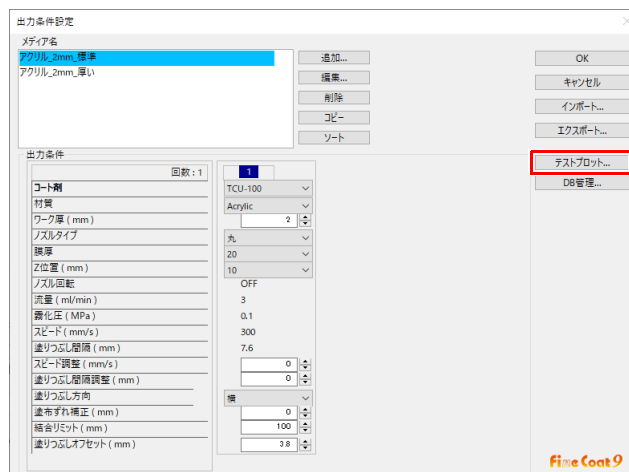
テスト塗布

FineCut/Coat9 を使用してテスト塗布を行います。

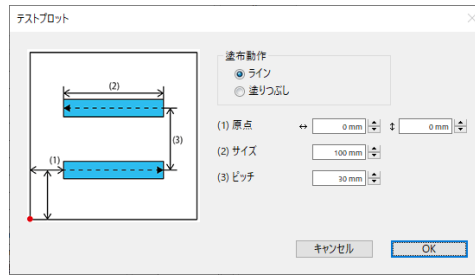
1

FineCut/Coat9 でテスト塗布を行う。

- (1) [プロッタ/ユーザー設定] 画面の [プロッタ] タブ - [プロッタ機種] で [出力条件設定] をクリックする。
- (2) [テストプロット...] をクリックする。
・テストプロット画面が表示されます。



- (3) テストプロット画面で[ライン]または[塗りつぶし]を選択し、[原点],[サイズ],[ピッチ]を指定して[OK]をクリックする。
 ・テスト塗布が実行されます。



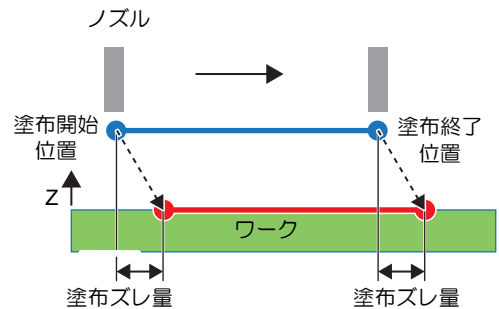
塗布ズレ調整

FineCut/Coat9 で塗布ズレ補正を行います。

1

FineCut/Coat9 でテスト塗布を行う。

- (1) [プロッタ/ユーザー設定]画面の[プロッタ]タブ-[プロッタ機種]で[出力条件設定]をクリックする。
- (2) [出力条件設定]画面で[塗布ずれ補正]に0を設定する。
- (3) [テストプロット...]をクリックする。
- (4) テストプロット画面で[ライン]を選択し、[OK]をクリックする。
 ・テスト塗布が実行されます。

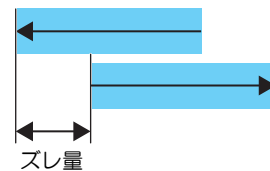


2

塗布された線のズレ量を測定する。

- (1) 測定したズレ量の 1/2 の数値を [塗布ずれ補正] にマイナスの値で入力する。
- (2) [テストプロット...]をクリックする。
- (3) テストプロット画面で[ライン]を選択し、[OK]をクリックする。
 ・テスト塗布が実行されます。
- (4) 出力結果を確認する。
- (5) (1) ~ (3) を繰り返し、ズレ量がなくなったら、[出力条件設定]画面で[OK]をクリックする。

【出力結果】



電源のオン

本機には、2つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ: 本機の右側面にあります。

電源スイッチ : 通常、電源のオン/オフをするときはこのスイッチを使用します。



- 電源をオンするときは、ワーク以外の物を塗布パネル上に乗せないでください。電源をオンするとヘッドが右下の待機位置へ移動します。ヘッドに物が当たり故障の原因になります。
- 本機の電源を再度オンする場合は、電源をオフにして 30 秒以上経ってから行ってください。誤動作の原因になります。

1

塗布パネル上に物を置いていないことを確認する。

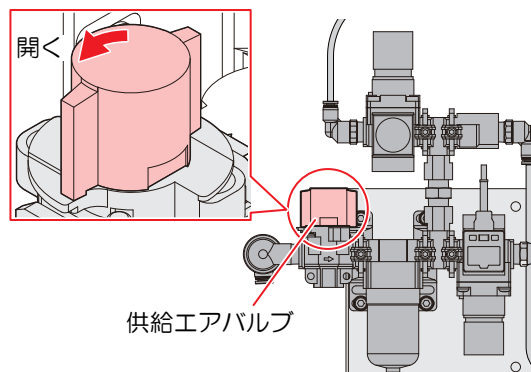
- 物が乗っている場合は、塗布パネルから降ろしてください。

2

エアーの元圧の供給を開始し、供給エアバルブを開ける。



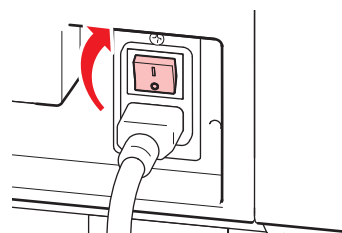
- エアーの元圧が供給され、供給エアバルブが開いている状態にしてください。供給されていない状態で電源をオンすると、電空レギュレーターが故障するおそれがあります。



3

主電源スイッチを入れる。

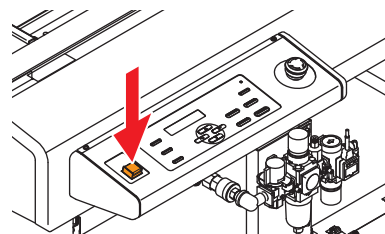
- 本機右側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。



4


電源スイッチを入れる。

- 操作パネルにある電源スイッチを押します。
- POWER ランプが点灯します (緑色)。

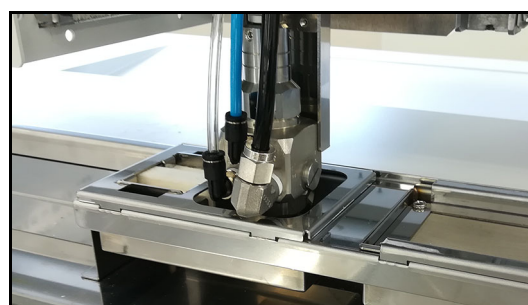


5

ノズルキャップを外してから [ENTER] キーを押す。

-  取扱説明書の P.2-3「ノズルキャップが付いている場合は外す。」
- 原点検出動作後、ヘッドが待機位置 (浸け置きバット) へ移動します。

キャップ ヲ ハズシテカラ
ENTERキー ヲ オシテクダサイ



6

接続しているコンピューターの電源をオンにする。

電源のオフ



- ・電源をオフにする前に、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないか確認してください。

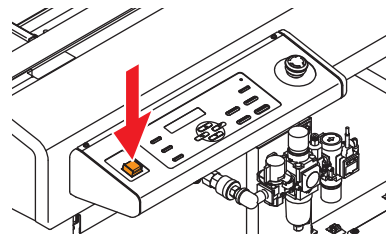
1

接続しているコンピューターの電源をオフにする。

2

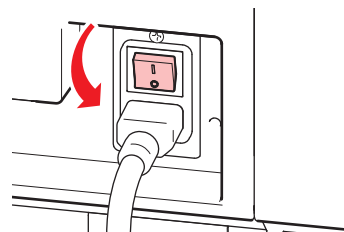
電源スイッチを押して、電源を切る。

- (1) 操作パネルにある電源スイッチを押す。
- (2) [ENTER] キーを押す。
 - ・ヘッドが待機位置（浸け置きバット）へ移動します。
 - ・POWER ランプが消灯して電源がオフになります。



3

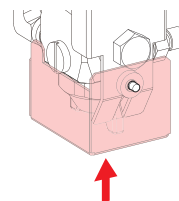
本機右側面にある電源スイッチを「0」側に倒す。



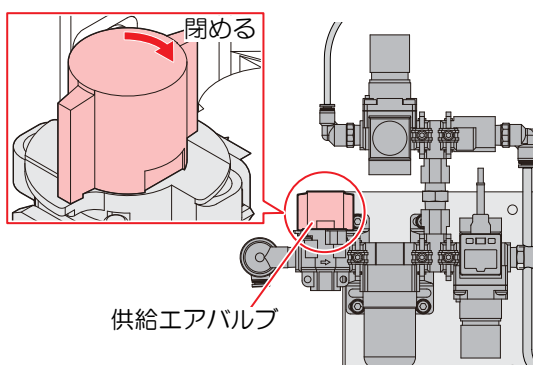
4

ノズルにキャップを付ける。

- ・☞ P.27 「ノズルキャップを付ける」



- ・長期間使用しない場合は、供給エアバルブを閉めてください。



未コーティングのデータを確認する

データを塗布する場合	(1) [REMOTE] キーを押してリモート状態にする。 (2) 受信済みのデータを塗布する。
データを消去する場合	(1) [REMOTE] キーを押してローカル状態にする。 (2) データクリアをする。(☞ 取扱説明書の P.2-14「処理を中止する(データクリア)」)

サプライ品について

サプライ品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。

弊社ホームページにて最新の情報をご確認ください。

<https://japan.mimaki.com/supply/>

サプライ品の種類	サプライ品			
	品名	品番	個数	備考
ノズル	液ノズル・ピストンセット	SPC-0893	1	消耗品
	Oリングセット	SPC-0894	1	消耗品
	平吹きエアキャップ	SPC-0898	1	消耗品
	丸吹きエアキャップ	SPC-0899	1	消耗品
その他	フィルム置台	SPC-0874	1	標準添付品
	ミストフィルター	SPC-0889	1	標準添付品
	ノズルワイパーセット	SPC-0890	1	標準添付品
	サックフィルタ SUS 200 メッシュ	SPC-0875	1	標準添付品
	クリーニングトレイ	SPC-0892	1	標準添付品
	フラッシングメッシュ	SPC-0891	1	標準添付品
	ボードホルダー	SPC-0900	1	標準添付品
	ボードサポーター	SPC-0901	1	標準添付品
	ボードレシーバー	SPC-0904	1	標準添付品

